

くらし安全・住みよしみづくり、まちづくり



かけはし

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410-0832 沼津市御幸町14-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 931-1111(代)・FAX (055) 931-1115

主な記事

- 現計画を改めて検証した、有識者会議報告書より…(1)
 - ・ 一歩前進 沼津駅周辺のまちづくり
 - ・ 二歩前進 沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議報告書
 - ・ 新会長就任あいさつ
- 沼津駅付近鉄道高架事業検討結果報告書の主な内容…(2)
 - ・ 平成22年度 会の動き

鉄道の高架化に伴う駅周辺総合整備事業が進んでいます



沼津駅北口駅前西側の姿が変わり始めました

北口駅前広場とあまねガードの間では、道路や建物の配置が変わり、新たな駅前の姿を見せ始めています。現在は、12階建てのホテルをはじめとした建物の建築が着々と進められています。



イーラde西側も着々と区画整理が進んでいます

イーラde西側では、かつて線路や建物などがあった場所に、道路や宅地の整備が行われています。また、沿道には、順次新しい建物が建築され、新たな街並みの形成が進んでいます。



三ツ目ガード北側は道路が拡幅され新しいまちづくりが進んでいます

三ツ目ガード北側付近の国道414号は、鉄道高架に合わせてかさ上げして4車線に拡幅するための工事が進められています。また、杉崎町の西側街区では、建物移転が行われるなど、まちづくりが進んでいます。

一歩前進

沼津駅周辺のまちづくり

現計画を改めて検証した、有識者会議報告書より
鉄道高架事業は効果的な事業!
貨物駅の移転先は妥当!



これまでの検証結果をまとめた報告書では、沼津貨物駅の移転など、現計画は妥当との結論が示されています。

この報告書を受け取った川勝知事は、検証結果を尊重し、鉄道高架事業を着実に推進していくとの考えを示されました。

区分	氏名	役職
座長	森地 茂	政策研究大学院大学 教授
委員	大久保あかね	富士常葉大学総合経営学部 教授
	岸 昭雄	静岡県立大学経営情報学部 講師
	岸井 隆幸	日本大学理工学部 教授
	杉山 雅洋	早稲田大学 名誉教授
	高橋 洋二	日本大学総合科学研究所 教授
	武内 和彦	東京大学大学院 教授
	谷口 栄一	京都大学大学院 教授
長谷川逸子	関東学院大学大学院 客員教授	
水尾 衣里	名城大学人間学部 教授	

沼津駅付近鉄道高架事業について、社会経済情勢の変化を踏まえ、客観的かつ科学的見地から検証することを目的に、静岡県が平成22年9月に「沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議」を設置しました。

この会議の委員は、まちづくり・交通・公共政策などの専門家が10人で構成され、全6回にわたり、本事業の検証が行われました。

二歩前進

沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議報告書

新会長就任のあいさつ



市民の会 会長 市川 厚

このたび、市民の会の会長を務めることに成りました沼津商工会議所会頭の市川厚でございます。どうぞよろしくお願いたします。

後藤前会長の在任中は、県知事や市長の交代に伴い、前進のための様相が大きく変わり、一時はその成り行きが危惧された事もありましたが、後藤前会長のリーダーシップにより会を結束に導きました。改めて、この紙面を借りて深く感謝申し上げます。

私としても、後藤前会長の意志を引き継ぎ、微力ながら早期実現に向け会の結束を強めていきたいと考えておりますので、会員はもとより市民の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

さて、昨年9月から県が設置しました有識者会議では、鉄道高架事業につきまして、客観的かつ科学的見地から検討が行われ、去る六月十七日に知事に報告されたところでございます。沼津市が抱える交通等の問題を解決し、県東部拠点都市を形成するために、効果的な事業であると事業の妥当性が示され、その後、県からは鉄道高架の推進方針が公表されたところであります。

また、街づくりを柱とした「沼津駅周辺総合整備事業」は鉄道高架を含めて着実に進んでおり、東部コンベンションセンターについては、その内容を機関紙「かけはし」で広く市民に周知したところであります。

現在、区画整理事業などにより街は新しい姿に発展し、他方、跡地利用の検討も行われ中心市街地が大きく変わろうとしています。

私たち沼津市民にとっては、百年に一度のチャンスとなるこの事業を成功に導き、将来の街づくりを見据えた沼津全体のランドデザインを皆さんと共に描いていきたいと考えております。

そのためにも、鉄道高架化が一日も早く実現できますよう、関係各位の「衆知」を集め、若い世代を含めた幅広い組織や名称の変更等を視野に入れて市民の会の一層の強化と積極的な活動を進めてまいりますので、ご支援ご協力を重ねてお願いいたします。

沼津駅付近鉄道高架事業検討結果報告書の主な内容

1. 目的及び検討内容

- 沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議は、沼津駅付近鉄道高架事業について、社会経済情勢の変化を踏まえ、客観的かつ科学的見地から検証を行うことを目的に設置。
- 会議では、「交通対策の視点」「物流の視点」「地域振興の視点」から、本事業について改めて検討。

2. 事業経緯

- 沼津市は、歴史的、地理的に県東部地域の拠点都市の役割を担ってきた。
- しかしながら、都心部は南北市街地の分断と、慢性的な交通渋滞等といった課題を抱えており、周辺市町の都市化も進む中、拠点性や魅力が低下。
- 鉄道高架事業は、土地区画整理事業等の駅周辺整備と一体的に実施することで、積年の課題の解消と新たな都心の創造を目指し、平成15年に事業着手。

3. 事業の検証結果

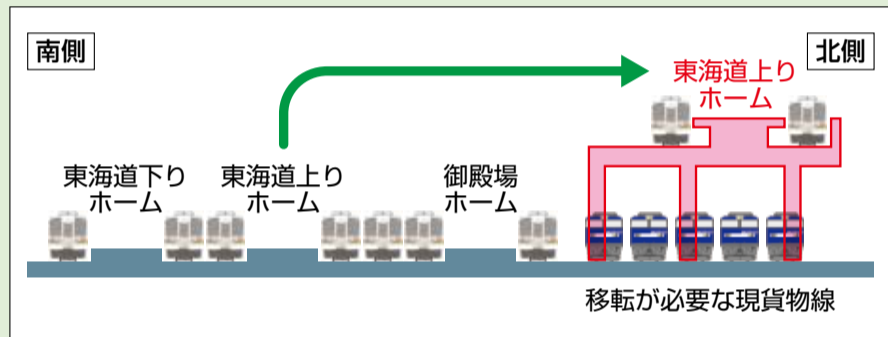
- 鉄道高架事業は、沼津市都心部が抱える交通の課題を抜本的に解消する最も有効な手法。
- 鉄道高架事業により南北市街地が平面で一体化されるため、バリアフリーで人にやさしいまちづくりが可能。
- 鉄道高架事業は、都心部に新たな都市空間を創出できる有力な手法であり、拠点性の向上に向けた新たなまちづくりが可能。
- 費用便益分析においても、便益は費用を上回っており、社会経済的に合理性を有する。

4. 沼津貨物駅の取扱い

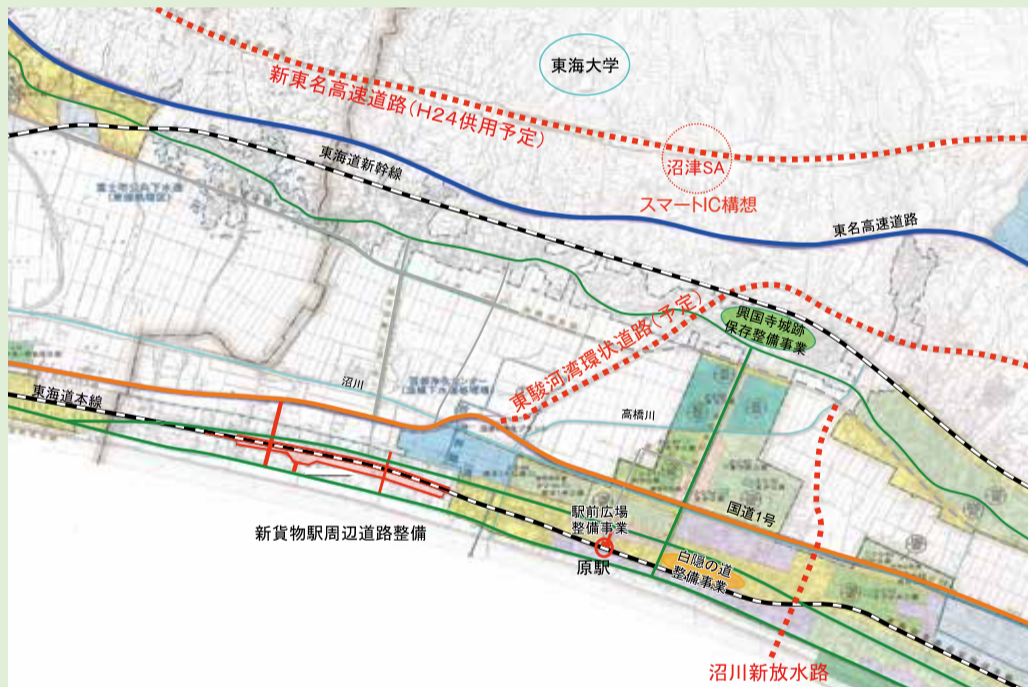
- 沼津市の鉄道貨物駅機能は、取扱品目の種類や長距離輸送を得意とする鉄道貨物の特徴や、地域の発展・環境負荷の低減の観点などから今後も必要。
- 貨物駅移転先について、周辺土地利用、鉄道線形・高架化計画等との整合性、物流拠点としての有効性、施工性・経済性の4つの観点から改めて検証を行った結果、現計画と同一の地区を選定。
- 原地区周辺は社会基盤整備が予定されており、都市拠点としての高いポテンシャルを有している。



鉄道高架化に伴う現貨物駅移転の必要性



新貨物駅周辺の社会基盤整備



鉄道高架事業と橋上駅整備事業との便益の比較

		鉄道高架事業	橋上駅整備事業
便益	自動車利用者	時間短縮便益	○
		走行経費減少便益	○
		交通事故減少便益	○
	歩行者自転車	踏切事故解消便益	○
		踏切待ち解消便益	○
費用	事業者	施設整備費	○
		施設維持管理費	○
事業期間		20年間	5年間
事業費		787億円	約52億円
費用便益比 (B/C)		1.5	0.6

※報告書の詳細は静岡県ホームページをご覧ください
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki3/numazu/kouka/index.html>

※1 「費用便益分析マニュアル(連続立体交差事業編)平成20年11月 国土交通省」による算出
 ※2 橋上駅整備事業の事業費、事業期間は他事例等を参考に仮定



増井明弘氏

②臨時総会・市民講座
 期日 平成二十三年二月十日(木)
 場所 ブケ東海沼津
 臨時総会議案 役員改選に関する件
 ついて
 市民講座 「沼津駅周辺総合整備事業の取り組み状況について」
 講師 静岡県 交通基盤部 理事 増井明弘氏
 沼津駅周辺整備事務局 局長 加藤裕孝氏



田村一夫氏

報告 「沼津駅周辺総合整備事業の取り組み状況について」
 沼津市 都市計画部 沼津駅周辺整備事務局 局長 加藤裕孝氏
 記念講演 「静岡県における鉄道高架事業の紹介」
 講師 静岡県 交通基盤部 街路整備課長 田村一夫氏

1. 会議の開催

(1) 総会

①定時会員総会
 期日 平成二十二年六月二十九日(火)
 場所 ブケ東海沼津
 議案 平成二十一年度事業報告及び収支決算、平成二十二年事業計画及び収支予算、役員改選について

(3) 正副会長会議

期日 平成二十二年六月一七日(木)
 場所 沼津商工会議所役員室
 議題 定時会員総会に諮る議案について

(2) 鉄道跡地利用検討懇話会・竹内座長の懇談会

期日 平成二十二年十月十四日(木)
 場所 沼津商工会議所役員室
 内容 鉄道跡地利用検討懇話会・竹内座長に助言をいただきながら、会の今後の活動について懇談の中で方向性を探る

2. 広報啓蒙活動

- (1) 広報紙「かけはし」発行
 第二十六号(十二月三十一日発行) 8万5千部印刷・全戸配布
 沼津市、県知事、県関係部署、沼津市関係部署、県議会議員、市議会議員、その他関係者配布
- (4) 事務局会議
 第1回 平成二十二年六月七日(月)
 第2回 平成二十二年九月六日(月)
 第3回 平成二十二年十一月九日(火)
 第4回 平成二十二年十二月六日(月)
- 3 その他
 沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議の傍聴
 第2回 期日 平成二十二年十一月十二日(金)
 内容 交通対策の視点から鉄道高架を考へる
 第3回 期日 平成二十三年一月二十日(木)
 内容 物流の視点から鉄道高架を考へる
 第4回 期日 平成二十三年三月二十四日(木)
 内容 地域振興の視点から鉄道高架を考へる

